

<セルフメディケーションについて>

【調査の目的】

令和5年1月1日現在の住民基本台帳等に基づく本県の65歳以上の高齢者は、1,424,026人に達し、総人口の27.9%を占めています。団塊の世代が75歳以上となる2025年（令和7年）以降は、医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

急速な高齢化や社会構造の多様化・複雑化が進む中で、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする「セルフメディケーション」(※)を通じた疾病の予防、早期発見、治療が重要となってきます。

セルフメディケーションを推進するため、皆様のご意見をお聴かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思っております。

【活用状況】

このたびは、貴重な御意見ありがとうございます。

セルフメディケーション推進の具体的事業等を総合的に検討するための基礎資料とさせていただきます。

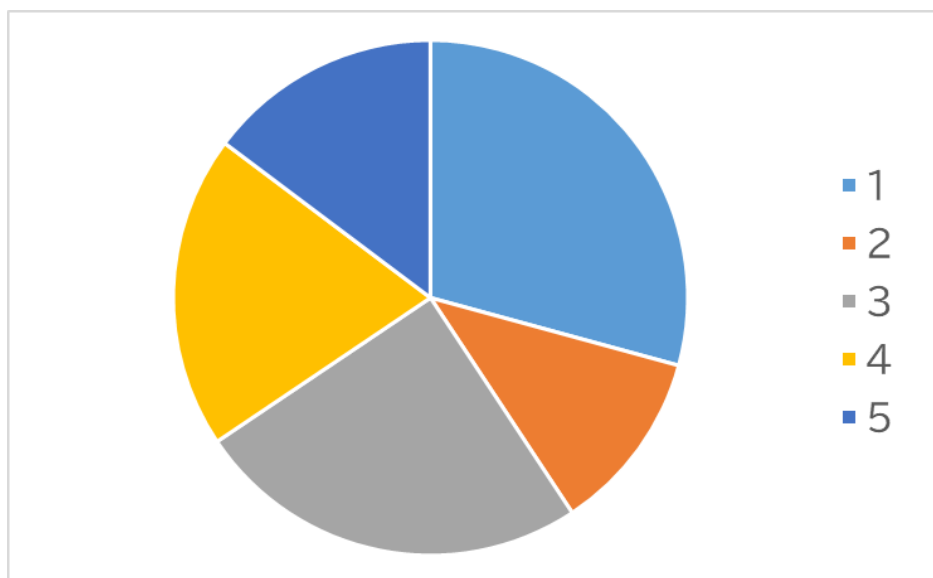
(保健医療介護部薬務課)

※ セルフメディケーションとは

世界保健機関（WHO）は「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」と定義しています。

日頃から健康を意識し、軽度な身体の不調には市販薬を使用して健康の維持や疾病の予防・改善を心懸け、セルフメディケーションを実践することで、健康寿命の延伸につながります。

< 1 > あなたは、「セルフメディケーション」について知っていますか。また、「セルフメディケーション」を実践していますか。



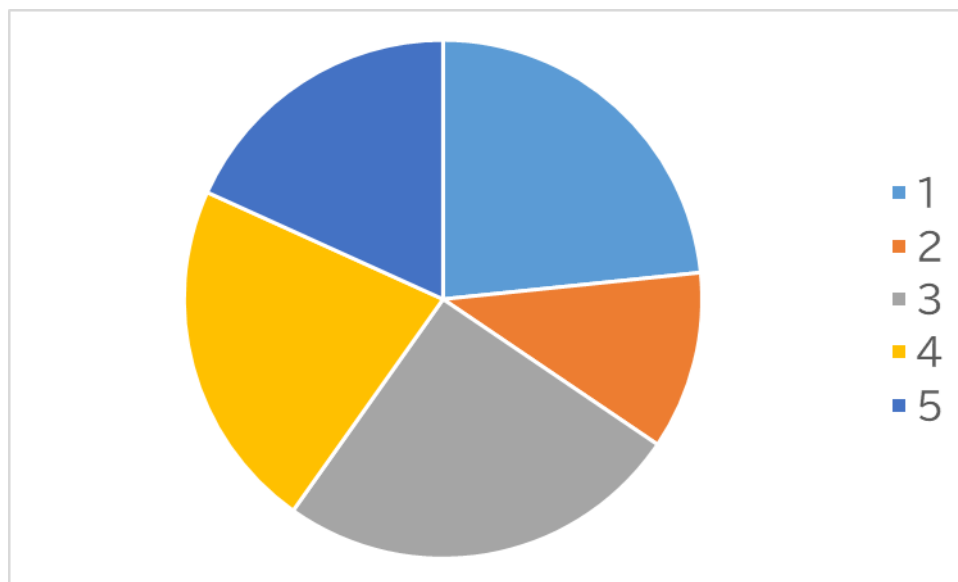
(n=366 選択肢は1つのみ)

1 知っており、実践している	29.2%	(107名)
2 知っているが、実践はしていない	11.5%	(42名)
3 言葉は知っているが、内容はよく知らない	24.9%	(91名)
4 言葉は知らなかったが、内容は実践している	19.7%	(72名)
5 知らない	14.8%	(54名)

無回答 0.0% (0名)

<1：参考>令和3年度 県政モニターアンケート調査結果

あなたは、「セルフメディケーション」について知っていますか。また、「セルフメディケーション」を実践していますか。



(n=351 選択肢は1つのみ)

1	知っており、実践している	23.4%	(82名)
2	知っているが、実践はしていない	11.1%	(39名)
3	言葉は知っているが、内容などはよく知らない	25.4%	(89名)
4	言葉は知らなかったが、内容は実践している	21.9%	(77名)
5	知らない	18.2%	(64名)

無回答 0.0% (0名)

< 2 > 医薬品についてよくわからない時には、自分だけで判断せず、薬の専門家に相談することが大切です。

あなたは、医薬品についてわからないことは誰に相談していますか。



(n=366 複数選択可)

1 医療機関の医師に相談している	(176名)
2 医療機関の薬剤師に相談している	(102名)
3 薬局の薬剤師に相談している	(139名)
4 ドラッグストアの薬剤師に相談している	(137名)
5 ドラッグストアの登録販売者に相談している	(55名)
6 医療従事者ではない家族や知り合いに相談している	(45名)
7 インターネット等を用い、自分で調べている	(270名)
8 誰かに相談することはほとんどなく、自分で調べることもない	(11名)
9 その他 (次の設問で具体的に入力してください)	(11名)

無回答 0.0% (0名)

[その他 (抜粋)]

- ・医療従事者の身内に相談している。
- ・自身が登録販売者と准看護師の資格を持っているので、自身で調べる
- ・健康保健の教職員などの専門家に尋ねています
- ・薬の辞典が家にあるのでそれを利用することもある。
- ・医療業界で働いているため、その会社の人に聞く
- ・医療従事者である家族や知り合いに相談している

<2：参考>令和3年度 県政モニターアンケート調査結果

医薬品についてよくわからない時には、自分だけで判断せず、薬の専門家に相談することが大切です。

あなたは、医薬品についてわからないことは誰に相談していますか。

(n=351 複数選択可)

1 医療機関の医師に相談している	(173名)
2 医療機関の薬剤師に相談している	(90名)
3 薬局の薬剤師に相談している	(119名)
4 ドラッグストアの薬剤師に相談している	(122名)
5 ドラッグストアの登録販売者に相談している	(39名)
6 医療従事者ではない家族や知り合いに相談している	(41名)
7 インターネット等を用い、自分で調べている	(237名)
8 誰かに相談することはほとんどなく、自分で調べることもない	(15名)
9 その他（次の設問で具体的に入力してください）	(11名)

無回答 0.0% (0名)

[その他（抜粋）]

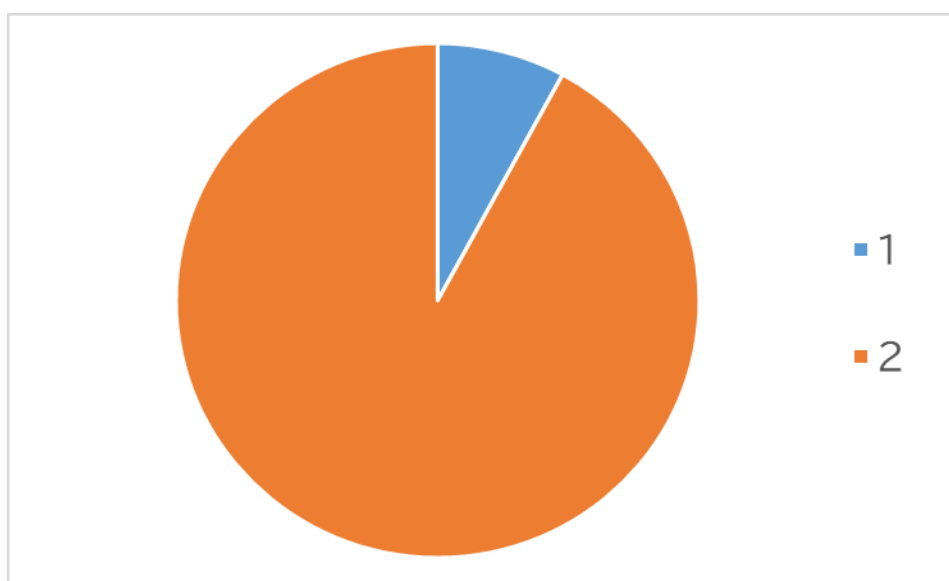
- ・職場が医療機関なので、周囲の同僚達に聞いてアドバイスをもらう。
- ・薬剤師資格を持っている知人に質問する。
- ・自分自身が薬剤師のため最低限の知識はある。
- ・あまりよくわからないと思ったことがない
- ・家族・親戚の医療従事者に尋ねる。
- ・医療従事者の家族（看護師）に相談している
- ・自分も登録販売者の資格を持っているので仲間に聞いたりしている

< 3 > あなたは、「健康サポート薬局」という言葉を知っていますか。

※ 健康サポート薬局とは

厚生労働大臣が定める一定の基準を満たしている薬局として、かかりつけ薬剤師・薬局の機能に加えて、市販薬や健康食品に関することはもちろん、介護や食事・栄養摂取に関することまで、気軽に相談できる薬局のこと。

令和5年3月末時点で、福岡県内に119の健康サポート薬局がある。

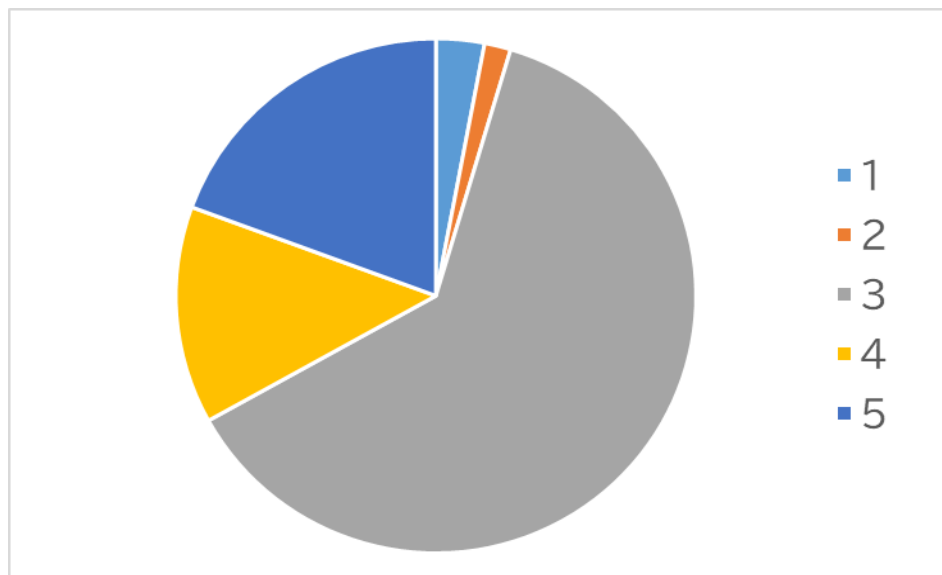


(n=366 選択肢は1つのみ)

1 知っている	7.9%	(29名)
2 知らない	92.1%	(337名)

無回答 0.0% (0名)

< 4 > あなたは、医薬品に関する相談をしたり、市販薬を購入したりするときに、健康サポート薬局を利用していますか。また、健康サポート薬局を利用したいと思いませんか。



(n=366 選択肢は1つのみ)

1 健康サポート薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う	3.0%	(11名)
2 健康サポート薬局を利用したことがあるが、今後は利用したいと思わない	1.6%	(6名)
3 健康サポート薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う	62.3%	(228名)
4 健康サポート薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない	13.7%	(50名)
5 分からない	19.4%	(71名)

無回答 0.0% (0名)

〔「1 健康サポート薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う」の理由〕

自分で調べるのには限界があるし、症状によって適した成分は専門家のアドバイスを聞きたいから。

医師とは違う立場で助言を貰えるのでありがたい。

利用者へのサービス意識が高いのかなと感じました。薬剤師さんの親切なところも感じますし、利用しやすいです

責任をもって答えてくれる人が身近にいるということはいい事だと思うし、安心に繋がります

サポート薬局の方がより聞きたい情報がすぐわかり、対応が早い。知識や情報量が多いイメージ

〔「3 健康サポート薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う」の理由(抜粋)〕

ネットでも、いろいろな情報を得られるが、サプリメントを買わせるためのサイトが多い。今後は、信頼できるより健康サポート薬局で、相談等をしていきたいと思う。

お薬の事が良く分からないので専門家相談できると助かるから。

健康のために偽科学とかではない、信用できる情報が欲しいため。

自分の知識だけでは不安なため。身近に相談できる人がいる事は安心できる。

インターネット上の情報だけでは、その内容の真偽や自分の身体との相性についてわからないため個別的にアドバイスをもらいたいから。

医療に関する事は、専門知識と先進知識が必要な分野だとおもうので、素人である自分の判断には根拠がないため、是非相談したい。しかも手軽に相談できる事が重要な要素だと思います。(専門知識があることは当然なので)

病院に行けない時や、家族のことでちょっと相談したい時等に利用したいと思いました。

健康食品やサプリなどネットでも気軽に買えるが、種類が多く、何が自分に適しているのか分からないので、気軽に相談できると便利だと思うので。

市販薬で、薬の効果が微妙な時などに適切な薬を教えてもらえるのは良いと思うから。

薬などについて、自分でネット等で調べてもあまり自信が持てないので、気軽に相談できる場があるなら利用してみたいと思ったから。

しっかりと説明してサポートしてくれそう。安心して気兼ねなく利用できそう。

自分だけで判断せずに専門家の意見を聞いて適切な薬を選びたいから利用したい。

市販薬や健康食品に関する事はもちろん、介護や食事・栄養摂取に関する事まで、気軽に相談できるから

ご自分で調べたりできない方や、身近に相談できる方がいない方にとっては、とても有用だと思います。

知らなかったので、こういう取り組みがあるのであれば、利用してみたいと思います。ただ、どうやって使えばいいのか、どのくらいの人が利用しているのかも知りたいところです。

解らない薬のことや、副作用等を気軽に相談出来る窓口があるのは、嬉しいです。

風邪薬だけでも種類が多く金額も様々で、どれを選べばいいのか分からず不安になりながら服用しているので、身近なところで相談・購入までできるところがあれば利用してみたい。

自分に知識がつきそう

〔「4 健康サポート薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない」の理由
(抜粋)〕

ネットの情報で事足りると思ってしまうから。重症であれば医療機関に行くので、特に相談しようと思わない。
どこの薬局が健康サポート薬局なのか分からない。あと相談しても、本当に必要なものではなく、お店の利益になるような商品などを売られそうで少し疑ってしまう。
地域のドラッグストアの登録販売者に相談すれば、大体わかるから、あえて利用する必要がないから。
一定の基準がどの程度のものなのかが分からない。また健康サポート薬局と普通の薬局との差は何なのかも不明。健康サポート薬局を利用するよりも、自分と相性の良い薬局を利用した方が安心信頼できる。
制度をよく理解していないため。
料金が発生するのでは？処方された時にしっかり説明を聞くので十分だと思っている。
インターネット上で自分で調べることで十分に情報を得られるから。
ほかにも利用客が多いため、ゆっくり相談できないから。自力検索などをしたほうが早いと思うので。
出来れば診察して頂いている医師に相談したい
健康サポート薬局等の薬剤師に相談しても、責任をもって説明できないし、問題解決にならない。またその責任も持てないため、私はかかりつけ医に相談している。
今のところ薬を飲む必要がないので不要である。
現在は医師の処方箋の薬を受け取るために薬局を利用している。病院の近くの薬局に健康サポート薬局のサービス提供は難しい。
面倒くさいし、ネットである程度は調べられるから
健康サポート薬局とドラッグストアや調剤薬局にいる薬剤師さんとの違いがなさそう。インターネットで色々調べられるため、わざわざ薬局に相談にはいかない。

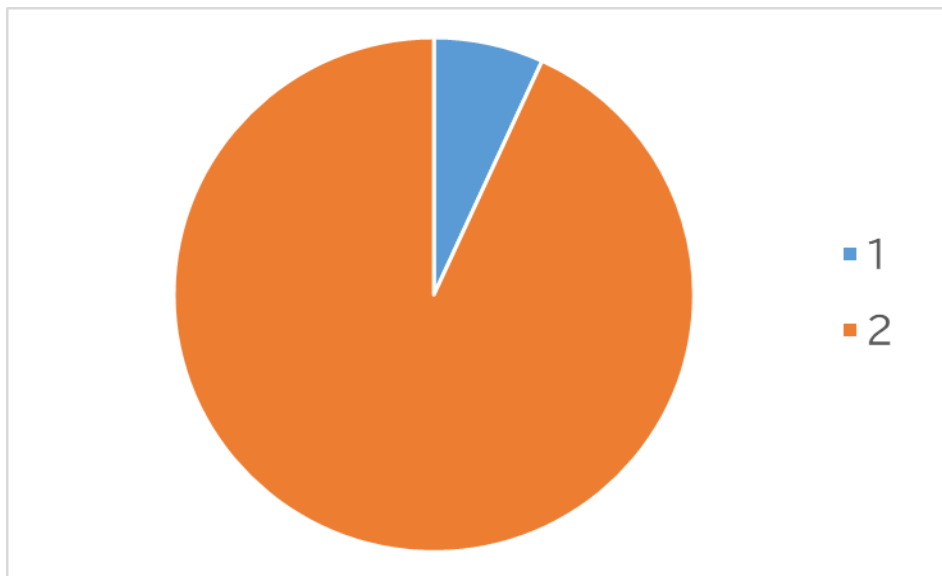
※ 地域連携薬局とは

令和3年8月から始まった制度で、住み慣れた地域で医療や介護のサービスを切れ目なく利用できるようにするために、様々な医療関係者と連携を取り、地域・患者を支える薬局のこと。

地域連携薬局は、病院の入院時・退院時における情報連携をしたり、在宅医療で地域の薬局と連携しながら一元的・継続的に対応したりすることができる薬局として、県による認定を受けている。

令和5年3月末時点で、福岡県内に106の地域連携薬局がある。

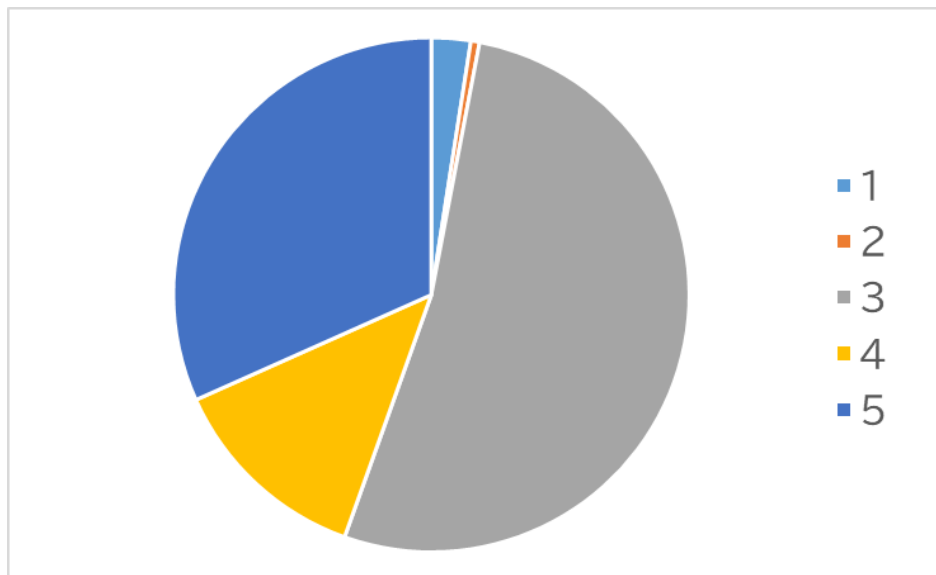
< 5 > あなたは、「地域連携薬局」という言葉を知っていますか。



(n=366 選択肢は1つのみ)

1 知っている	6.8%	(25名)
2 知らない	93.2%	(341名)
無回答	0.0%	(0名)

< 6 > あなたは、医薬品に関する相談をしたり、市販薬を購入したりするときに、地域連携薬局を利用していますか。また、地域連携薬局を利用したいと思いますか。



(n=366 選択肢は1つのみ)

1 地域連携薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う	2.5%	(9名)
2 地域連携薬局を利用したことがあるが、今後は利用したいと思わない	0.5%	(2名)
3 地域連携薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う	52.5%	(192名)
4 地域連携薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない	12.8%	(47名)
5 分からない	31.7%	(116名)

無回答 0.0% (0名)

〔「1 地域連携薬局を利用したことがあり、今後も利用したいと思う」の理由 (抜粋)〕

近くの医療機関と連携していることで、安心して薬局に寄れます。気軽に寄れるというところか大切だと感じます。

高齢になれば数か所の病院にかかることが多くなるので長期にわたり連携した医療情報が必要だと思う

安心感があるから。

〔「3 地域連携薬局を利用したことはないが、今後利用したいと思う」の理由（抜粋）〕

医療関係者と連携が取れていることは非常に安心であり、とても信用して利用できると思うから。
身寄りのいなくなってしまうご老人の方や一人暮らしの方などが体調を崩すと頼る人がいなくて困ると聞きます。そのような際に医療関係者と連携の取れた方たちがいるととても心強いと思います。
専門職の情報共有がされているのはより良いサービスを受けられると思うし特に高齢者などに最適なサービスではないかと思ったから。
情報連携が出来ていることはとても便利だから
医療機関や薬局にかかるときに、自分の症状や現在の健康状態等、1からすべての施設に説明したりする手間も省けるし、入退院時や在宅医療を受ける際の不安等も、地域連携していることにより軽減し、安心して地域医療を受けることができそうだから。
病院と薬局が情報を握りあうことで、新たな健康維持へのアプローチができる可能性を見出させるから
利用したいと思いますが、どこにあるのかよくわかりません。利用しやすい分かりやすい取り組みがあればよいと思います。
介護が必要になった時など、入退院後の連携が取れるのは良いと思うので、利用したい。
入院時退院時の情報連携などが必要な場合は、自分自身で情報を伝えられない高齢者や障害のある方ではないか。今後自分がそのような状態になった場合には自分薬局に情報を伝えなくても、事前に薬剤師が情報を把握できていれば安心だと感じる。
初めて聞いた言葉でわからないが、なにをどう連携するのかも含めて知りたい。
病気の間は、少しでも負荷を無くしたい。薬一つとっても確認する作業は負荷にあたるので、病院の連携をとってあれば、そちらに委ねたいと思うので利用したい。
様々な医療機関と連携をとって頂けるとありがたいから。
医療関係者と連携を取り、地域・患者を支える薬局は、信頼できると思う。今は、健康で、かかりつけ病院もないが、今後は、是非利用していきたい。
病院の入院時・退院時における情報連携をしたり、在宅医療で地域の薬局と連携しながら一元的・継続的に対応したりすることができるから
健康サポート薬局も地域連携薬局も県民への周知が不足していると思います。県の認定薬局には、分かりやすい掲示をして欲しい。現在、掲示しているのであれば目立っていないと思う。
健康サポート薬局、地域連携薬局など周知に力を入れる必要がある。かかりつけ医や地域連携病院は知っており、それなりの利用をしているが、薬局は数も少ないし周知も不足している。
健康サポート薬局と同様、意義のある制度であるので、必要な時には活用したい。

個人の健康状況をつかんでいただき、クリニックと連携が取れるようにしていただければ、安心して利用したいと思います。

〔「4 地域連携薬局を利用したことはなく、今後も利用したいと思わない」の理由 (抜粋)〕

現時点では入退院や在宅医療の予定がないため。
現在は自分自身で管理や自分の情報を正しく伝えることができるので、利用したいとは思わないが、高齢者となり人の助けが必要な状態になった時には利用したいと思う
連携することでメリットだと感じるものがないから
通常の薬局で十分だと思うから。
地域連携薬局が自宅近くにない
用語の説明文を読んでも正直イメージが湧かないため利用したいとも利用したくないとも判断がつかない。
市販薬は、価格差が、店舗によって差があり、地域連携薬局と名前が付くと高そうだから。
個人情報への洩れが気になる
薬局通しで連携する意味合いが良く解らない。処方するのは医者であり、その薬を近隣の薬局で購入するだけと思うが。連携薬局の役割を明確にし、一般者に広く伝わる工夫が必要であると思う。
病院の処方箋の対応が主体の薬局が多い現状では、地域連携薬局は難しい。
人体の一部に支障が出た場合、その一部の事象に対する対策としての医薬品が勧められる。ところが、人体は、一部しか見ないやり方ではなく、その人の人体総合を見なければならぬ。一部に効果が有っても、他の部分で逆効果になる医薬品もある。患者の事を、よく知らない人に医薬品を相談することは無い。

<7> セルフメディケーションについて、これまでの設問以外に意見がありますか。

[意見（抜粋）]

- ・元々あまり病院に行かず、自己判断でやっているため結局何かの病気だったのかなど分からないままの状態が続くこともある。セルフメディケーションといえばそうなのかもしれないがその言葉の使い方が合っているのかどうか謎。
- ・自分で相談しようとする人は、意識が高いのでいいと思うが、ネット環境がない高齢者や、普段、人との付き合いを避けている人たちをどのように健康意識を高めてあげるかが課題だと思います。
- ・「セルフメディケーション」という用語は、税制優遇（医療費控除）という側面しか知りませんでしたので、概念をもって国民全体に啓蒙し理解して活用や行動のフォローまで出来るようにして欲しい。
- ・介護施設で働いていますが、高齢者の方は薬を多量に希望する方、偏見があり服用されない方と両極端な方がとても多いです。自身での管理が難しいこともあるため気軽に相談や訪問出来るサービスがあればいいかと常々思います。
- ・セルフメディケーション税制とは別に考えて利用した方がいいと思った。確定申告では医療費控除との選択が必要のためあまり利用していなかった。
- ・人や役所の頼りきりになるのではなく、自分でコントロールしていかなければと思います。最近、他人のせいにするような風潮が多くなっているように感じています。自分のことは自分で出来るように心がけていきたいと思います。
- ・薬についてはほぼ無知なまま、経験や知り合いに聞いた話で購入しがち。そこを気軽に相談できる薬剤師さんがいたらうれしい。気になる症状になにが一番効くか（一番ではなくても）意見が聞けると嬉しい。
- ・セルフメディケーションと言う言葉はまだあまり浸透してないから、テレビやマスコミ等でもとりあげて、普及させてください。
- ・高齢者が増え医療保険制度は危機的状況にあると承知している。今後も真に必要な医療を確保していくためには、運動や良好な食生活による健康維持を県民全体が自覚すべきである。そのための啓発活動を県民だより等で積極的に行ってほしい。
- ・全く聞いたことがありませんでした。また恐らく、60代になる父母に聞いても詳しく分からないと思います。病気になって初めて知る人もいますし、新型コロナのような医療機関が逼迫する事態がまたいつくるかも分からないので、健康な方への呼びかけ（CMなど）が必要な取組みだと思います。
- ・「軽度な身体の不調」と定義されているが、軽度なのかどうかはその人の物差しで異なるため、判断が難しい。セルフメディケーションを意識しすぎて病院に行くことを我慢し、その結果手遅れな状態に陥ることがないように特に独居老人等にはきちんと説明すべきだと思う。